

# QSK にぬふあぶし

No.255 <sup>ね</sup>子の方向の星(北極星)



## 地域支え合い活動委員会 (宜野湾市)



野嵩2区地域支え合い活動委員会の様子  
毎月第3金曜日9時半～11時  
(沖縄大学のボランティア4名も参加)

宜野湾市では、23の自治会が活動しています。各自治会で、「暮らしやすい地域」を合言葉に、『地域支え合い活動委員会』を行なっています。

支援センターはぴわんは、普天間中学校区にある8箇所の自治会を中心に、『地域支え合い活動委員会』に参加しています。

近年、核家族化や少子高齢化、世帯の共働きが進んで地域活動の担い手が減るなどの様々な要因で、自治会への加入率が低下しているなか、地域コミュニティの大切さが注目されています。

それは、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震のときに、自治会のしっかりしていた地域とそうでない地域との間に、震災時や復興の状況に大きな違いが見られたからです。

自然災害のような非常時だけでなく、子供を狙う犯罪や事故、高齢者の孤独死などのなかには、ちょっとした地域の見守り、声かけで防げるケースがたくさんあります。日頃からの人と人とのつながりのなかに、自分の居場所を作ることが、今の時代だからこそ求められているのではないのでしょうか。

(地域活動支援センターはぴわん・兼浜)

## マルシェに参加して

てるしのワークセンター(園芸班)・内間安哲

2月10日の土曜日、『てるしのワークセンター』のメンバーで、イオンモール沖縄ライカムに行った。『農福マルシェ』という、農業と福祉の連携をアピールするイベントに参加するために、ぼくら園芸班のみんなで新鮮な野菜を売りに行ったのだ。

会場のセッティングのため、先発メンバーは早朝7時半にてるしを出発した。前日には売り物の野菜がてるしのに揃っていたので、職員たちを相手に念のため販売の予行演習も行っていた。手応えを感じ、そういう準備が自信につながったのか、本番のイベントでも野菜はとにかいたくさん売れた。

県内外から多くの事業所の参加があり、会場は活気があった。



面白かったのは夕方、販売時間も残りわずかとなったとき、ぼくとジャンケンをして勝ったお客様にはニンジンをもう一袋サービスしようということになり、しかもそのジャンケンにはわざと負けるということになっていて、そんなふうな楽しい工夫も功

を奏したみたいで、ニンジンも無事に完売することができた。

ぼくはライカムに行くのはじめてで、正直に言うと最初は少し気後れしていたが、頑張って「笑顔」と「ありがとうございます」で接客をしていると、お客様もやっぱり笑顔になってくれて、それがとても嬉しかった。ニンジンだけでなく、ミニトマト、インゲン、紅イモ、キュウリ、それからチョコでコーティングしたミニトマトも、持っていった商品はなんとぜんぶ完売した。そのことももちろん嬉しかった。ついでに書くと、イベントのユニフォームとして配られたお揃いのTシャツを参加メンバー全員もらうことができ、これまたすごく嬉しかった。

イベントは一日がかりでとても疲れたが、心地よい疲れとなった。機会があったら、またこういうイベントに参加したいと思う。

### お知らせ

◎弁護士による法律相談 4月10日(火)14~16時 場所:てるしの  
◎入院患者の退院支援(外出・外泊お手伝い) 電話:098-889-4011



# 第4回こころんピック

## (第16回沖縄県精神障がい者ソフトバレーボール大会)

去る2月28日から3月2日の3日間、県総合運動公園で『第4回こころんピック(ソフトバレーボール大会)』が開催されました。

今年の参加団体は15チームで、予選リーグ・決勝リーグともに盛り上がりました。地域の事業所チームの参加も増えてきて、よかったです。

優勝チームは、4連覇となる『なかゆくい会(精和病院)』チーム。ですが、ローカルルールが適用されて準優勝の『てるしのワークセンター』チームが九州に派遣されることになります。

九州大会に初出場となる『てるしの』チームには、6月に行なわれる大分県の試合でも大いに活躍して欲しいところです。「九州派遣の支援カンパお願いします」:大城(098-889-4011)



## 写真展 闇から光へ

入場無料

『知られざる沖縄戦後史～精神保健の歩みを見る・聴く』

4月17日(火)～22日(日) 午前9時～午後6時

沖縄県立博物館美術館・県民ギャラリー

(那覇市おもろまち3丁目1-1・メインプレイス隣り)

シンポジウム&映像上映

4月22日(日) 午後2時～5時(1時半開場)

沖縄県立博物館美術館 2階講堂

《私宅監置の実態を知り、今後を考える》

【パネリスト】安富祖朝正さん、兼浜克弥さん

松村豊さん、仲本政師さん、玉城由香里さん

映像:TBS『生きていた座敷牢』(1972)

&久米島リポート(宮里恵美子さん証言 2018)



後援: 沖縄県 沖縄県市長会 沖縄県町村会

問い合わせ: 沖福連 (てるしのワークセンター内) 098-889-4011 (高橋)

## 『きらりの集い in 沖縄』のはなし

わたしは昨年(2017)の4月から、イベント『きらりの集い in 沖縄』に実行委員としてかかりました。月に1度集まってミーティングをしたり懇親会をしたりして、きらりの大成功に向けて動いていくうちに実行委員のみんなが仲良くなりました。

わたしは『アソシア』の伊井さん(いいぶちょー)、『カフェわきみず』の米山さん(よねび)と一緒に分科会担当をしました。分科会を催したい県外の方々と連絡を取るために、いいぶちょーにスマホのGメールの基礎の基礎から教えていただきました。よねびとは分科会で使う文房具や日用品を一緒に買いに行きました。ふたりには分科会のごことで、いっぱいフォローしてもらいました。感謝でいっぱいです。きらりの本番は、わたしは体力面で不安があったのと、分科会の“お絵描きWRAP”のファシリテーターをお願いされていて、責任重大絶対休めない! というのがあったので、最終日の日曜日だけ参加しました。

お絵描きWRAPは、参加されたみなさんで各々“希望”について絵を描くという内容で、最初は戸惑いも見られましたが、最後にはどの方もいい顔をされていたのが印象的でした。

クロージングでは、壇上に上がって実行委員のみんなであいさつしたのですが、大会長の坂本さんの涙の挨拶にわたしはもらい泣きして、壇上に上がる前からピーピー泣いてまともに挨拶できませんでした。

会場が首里城、てんぷす那覇という場所柄、当事者・支援者関係なく、一般、観光客もまぜこぜに参加して、坂本大会長の狙い通りになったし、わたしもそこがよかったなと思いました。

来年は島根での開催になります。きらりの集いはとても楽しかったので島根大会にも参加するつもりです。(ぴんが)

### ◎編集後記◎

6年ぶりに渡嘉敷島へ行ってきました。懐かしい景色と懐かしい空気、懐かしい顔ぶれ。それが以前と似ていれば似ているほど、気になってくるものもあります。あのときと違うことのひとつひとつ。季節もまだ夏ではないし、過ごす日数が足りないし、あのときはいたけれど、今回はいない人たちもいます。でもそれは言い換えれば、新しい出会いです。(ま)

編集：公益社団法人  
沖縄県精神保健福祉会連合会  
会長 山田 圭吾  
〒901-1104  
沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1  
てるしのワークセンター内  
電話 098-889-4011 FAX098-888-5655  
E-mail [terushino@castle.ocn.ne.jp](mailto:terushino@castle.ocn.ne.jp)  
発行：九州障害者定期刊行物協会  
〒812-0024 福岡市博多区綱場町 1-17  
福岡パーキングビル 4階  
電話 092-753-9722 FAX092-753-9723  
定価：10円(会費に含まれる)